

あなたは愛真高校を知っていますか？

「人は何のために生きるのか」を考える高校

—愛真高校シンポジウム in 北九州

島根の山間にキリスト教愛真高校があります。1988年開校、来年30年となります。

授業が始まる時間になってもチャイムは鳴りません。生徒らは自らの判断で教室に集い授業は始まります。食事は生徒自らが当番で作ります。勉強もします。

しかし、何より彼らが考え学ぶのは「人は何のために生きるのか」です。

創設者の高橋三郎は「自己拡大を求めて止まぬ人間の欲望に仕えるものになってしまっている学校教育の現状を憂い、人は何のために生きるのかを問うことを教育の中心に据えて、豊かな知性と確固たる良心を合せ備えた責任の主体たる独立人を育成する学校を作ろう」と創設の理由を語りました。

開校は、日本が飽くなき「自己拡大」を続けていたバブル期全盛期でした。バブルは崩壊しましたが、むき出しの経済至上主義は一層熾烈な競争社会を生みました。格差は広がり日本は「失われた時代」を長く歩むことになりました。それは以前の「(比較的)安定した暮らし」が失われたのみならず「生きる意味」が見失われた時代でもありました。結果、いのちは分断され「生きる意味のないいのち」と見なされた人々が虐殺される時代となっています。

愛真高校は、そのような時代の只中で「人は何のために生きるのか」を問い続けてきました。そして多くの卒業生をこの社会に送りだしてきました。

8月19日この愛真高校を考えるシンポジウムを開催します。愛真高校を知っていただきたいと同時に「何のために生きるのか」を考えるひと時としたいと思います。

どうぞ、お越しください。

■日時 2017年8月19日(土) 午後3時～5時30分

■場所 東八幡キリスト教会

北九州市八幡東区荒生田2丁目1-40 093-651-6669

■プログラム 1、愛真高校とは 校長 栗栖 達郎

2、卒業生からの発言

3、在校生からの発言

4、討論「人は何のために生きるのか」

登壇者+ゲスト？

コーディネーター 奥田知志

■連絡先 東八幡キリスト教会 奥田知志・伴子 tomoko.okuda.1963@nifty.com

■参加費無料 (カンパあり)